

授業概要

環境会計（Environmental Accounting）とは、企業や組織が自然環境に対する経済的な影響や資源利用を定量的に評価し、経営・投資判断や持続可能性の向上に活用するための会計手法である。この授業では、ESG投資に焦点を当て、関連する環境会計のキーワード、理論と実践スキルを考察し、実際の企業事例を取り上げながら、その実態や諸課題について理解を深めることができるよう講義する。授業の専門知識を応用し、自らの視野と可能性をさらに広げることを期待する。

授業計画

第 1 回	授業の狙い、全体像、進め方、評価方法および受講上の注意点
第 2 回	環境問題の歴史と世界の取り組み
第 3 回	環境保全の規制的手法と経済的手法
第 4 回	地球温暖化のメカニズムと地球温暖化対策
第 5 回	エネルギーと地球環境のかかわり、省エネルギー技術
第 6 回	循環経済と廃棄物処理、リサイクル
第 7 回	自然共生と生物多様性の保全
第 8 回	企業の環境責任と環境マネジメントシステム、環境コミュニケーション
第 9 回	環境省「環境パフォーマンスガイドライン」
第 10 回	環境省「環境報告ガイドライン」
第 11 回	環境省「環境会計ガイドライン」
第 12 回	産業別の環境保全対策と環境会計の導入状況
第 13 回	ESG 投資と財務・非財務情報の開示
第 14 回	ソーシャルビジネスと地域協働
第 15 回	期末まとめ（後半の授業内容の振り返り、復習問題・解説）
第 16 回	期末試験（持込可）

到達目標

- 環境会計論の基礎知識を理解し、関連分野の現状、特徴や諸課題について説明できる。
- 環境会計論の知識を応用し、自らの視野と可能性を広げることができる。

履修上の注意

- 授業計画（テーマや順番など）は変更になることがある。
- 授業開始から 30 分までは遅刻として受講を認める。（遅延証明や体調不良等の証明がある場合を除く）
- 遅刻 3 回で 1 回の欠席扱いとし、無断欠席が累計 6 回以上の場合、単位付与は行わない。

予習・復習

- 予習：次回授業で取り上げるテーマについて予習や情報収集を指示する。
- 復習：前回授業で学習した内容の復習問題と解説を定期的実施する。

評価方法

- 平常点：70%（授業内リアクションペーパーの提出をもって総合評価する）
- 期末試験：30%（配布資料やノート等は持込可）

テキスト

- テキストの指定はしない。毎回授業資料を配布する。
- 授業ごとのテーマに沿った参考文献等は適宜紹介する。